



本資料は、サノフィ(中国・上海)が2014年9月25日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、同日配信するものです。本資料の正式言語は英語・中国語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

サノフィ、アジア太平洋地域の統合研究開発拠点を設立 地域のイノベーション力を最大に

- 2件の戦略的パートナーシップで世界の健康向上への取り組みを強化 -

中国・上海 - 2014年9月25日 - サノフィは本日、アジア太平洋地域研究開発拠点(AP 拠点)を設立しました。AP 拠点はアジア太平洋地域として初めてバイオ医薬品(サノフィ・バイオフーマ)、希少疾患(サノフィ・ジェンザイム)、ワクチン(サノフィパスツール)、および動物用医薬品(サノフィ・メリアル)の開発力を完全に統合する拠点となります。また、サノフィは本日、The GPCR Institute と Zai Lab とのパートナーシップも発表しました。これらのパートナーシップも、アジア太平洋地域での連携と科学的発見を加速させ、同地域での発見をアジア地域と全世界の治療ソリューションに結びつけるための取り組みの一環です。

サノフィ アジア太平洋地域研究開発拠点長・バイスプレジデントのフランク・ジヤン博士(Dr. Frank Jiang)は、「アジア太平洋地域には、地域が持つ多様性および特殊性があるように、多様な医療ニーズも存在します。アジア太平洋地域での研究開発活動を統合するアジア太平洋拠点は、同地域への革新的なソリューションの導入を加速させ、サノフィの世界の人々の健康向上のためのグローバルな取り組みを促進します。変化するニーズに対応する柔軟性を高めて、このダイナミックな地域における機会を捉えるための能力を向上できるであろうと、大いに期待しています」と述べています。

アジア太平洋地域の 12 カ国をまとめる拠点の本部は、上海に置きます。設立式典には、サノフィ CEO(最高経営責任者)のクリス・ヴィーバッハー(Chris Viehbacher)をはじめ、オピニオンリーダー、政府当局者、世界的科学者など 200 名以上が参加しました。この新拠点は、サノフィ内外のパートナーとの相乗効果を最大限に高めることでアジア太平洋地域でのイノベーションを加速することを主な役割とします。

サノフィ グローバル研究開発部門プレジデントのエリアス・ザフーニ博士(Elias Zerhouni, MD)は「アジア太平洋地域は、サノフィのグローバル研究開発戦略に重要な役割を果たしており、本日の拠点設立は、研究開発を変革し、今後の持続的成長を確実にするためのマイルストーンと言えます。我が社の学術ネットワークを強化することで、本地域で最良の学術資源を活用しつつ、本地域からのグローバルな研究開発アセットへのアクセスを高めることができます。サノフィのグローバル研究開発パイプラインの全プロジェクトをできるだけ早く本地域に導入し、患者さんのニーズに沿った科学的発見を推進する計画を立てています」と述べています。



The GPCR Institute と ZAI Lab とのパートナーシップは、主に中国国内で展開するもので、アジア太平洋地域の優れた研究開発コミュニティとサノフィとの関係を深める目的で締結されました。これらパートナーシップは、アジア太平洋地域全般で急激に増加しつつある糖尿病と慢性呼吸疾患にそれぞれ特化したもので、オープンイノベーションを促しつつ、グローバルな医療ニーズを満たす治療ソリューションの開発を加速していきます。

フランク・ジヤン博士は「サノフィは、世界の健康向上に積極的に取り組んでおり、その一環として世界の優れた研究者や科学者との連携を深めています。世界の糖尿病患者は 2035 年までに 5 億 9,200 万人に増加すると予測され、アジア太平洋地域での増加は著しいと考えられている中、サノフィと The GPCR Institute とのパートナーシップは、私たちの強みと知見を集約し、本地域と世界の糖尿病患者に貢献する治療革新に近づく一歩を踏み出すものと確信しています」と述べています。

The GPCR Institute は、生体の細胞や器官系を制御する作動物質や阻害物質における革新を目標とする複数の研究組織から構成されるネットワークです。サノフィと The GPCR Institute とのパートナーシップは、地域の研究開発エコシステムにサノフィの推進力を組みこむという大きな役割を果たします。サノフィはまた、The GPCR Institute より、GPCR (G-Protein-Coupled Receptor, Gタンパク質共役受容体) Industry Consortium の設立メンバーの一社として迎えられています。

またサノフィは、このほど中国の革新的バイオテクノロジー企業である ZAI Lab とグローバルなライセンス契約を締結し、グローバルなイノベーションをアジア太平洋地域に導入する活動を展開することとなりました。ZAI Lab に 2 種類の新規化合物のグローバルな開発、製造と商業化の権利を提供するこのパートナーシップは、アジア太平洋地域でも急増している世界的問題の一つである慢性呼吸器疾患の革新的治療薬の開発に特化した内容です。

サノフィの 5 つの研究開発拠点は、開発力をグローバルで共有し、各地域の社内外の専門家にアクセスを提供しています。各拠点はグローバルネットワークに組み込まれていますが、マネジメントは現地で行い、各地域の拠点外との結びつきを促し、他の拠点との連携が行えるようにしています。ポストン、北米、フランス、ドイツの 4 拠点到新たに加わった上海の AP 拠点は、サノフィの地域開発力の育成に向けた取り組みを強化するものであり、サノフィのグローバル事業を形作る上でアジア太平洋地域がきわめて重要であることを改めて示すものです。

以上

サノフィについて

サノフィは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において 7 つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、および新生ジェンザイムです。サノフィはパリ (EURONEXT: SAN) およびニューヨーク (NYSE: SNY) に上場しています。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー

www.sanofi.co.jp



慢性呼吸器疾患について

慢性呼吸器疾患は、気道や、肺の気道以外の組織の長期にわたる異常をもたらす疾患の総称です。世界では、数億人の人々が慢性呼吸器疾患に苦しんでいます。WHO(世界保健機関)によれば、中国では慢性呼吸器疾患は死因の第 2 位にある疾患です。中国人男性の喫煙率は 50%以上で、悪化の一途をたどる大気汚染も慢性呼吸器疾患の大きな要因です。

糖尿病について

糖尿病は慢性疾患の一種で、主な臨床像は 2 種類あります。1 つは 1 型糖尿病と呼ばれるインスリンの不足を特徴とする自己免疫疾患、もう 1 つは 2 型糖尿病と呼ばれる疾患で、インスリンの産生不足と、産生されたインスリンに対する反応性の低下を特徴とします。糖尿病は、アジア太平洋地域で急激に増えつつあり、患者数は 2 億人を超えます。中国の患者数は地域内で最大で 1 億 1,400 万人を数え、成人人口の 11.6%を占めています。

サノフィの今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2013 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー

www.sanofi.co.jp